



小川 琢士さん

矢吹町小松在住。昭和3年8月7日生まれ。
さわやか詩集選考委員長。日本現代詩人会・
日本文芸家協会所属。県詩人会名誉顧問。



平

成元年、町の図書館
が開館し、矢吹町出

身の詩人、故大滝清雄氏の
蔵書を納めた「大滝清雄文庫」
も同時に開庫しました。これ
を記念して「大滝清雄賞」を
設け、小中学生の詩を募集
して編纂する「さわやか詩集」
の発行が始まりました。年々
応募数が増え、平成五年度
からは町のキャッチフレーズ「さ
わやかな田園都市」から「さ
わやか大賞」を設けました。
「子どもたちの実生活のな
かから出てくる想像力を伸
ばし、そして豊かにしていこ
うというのが一番のねらいです」
と小川さん。

小川さんは、昨今の映像文
化が子どもたちの感性に大

「大滝清雄文庫」の開庫を記念して 毎年、町民のみなさんから詩を募集

輝 く 人、 育 む 心

詩を書くことで自分の生活に目が向き、
現実のなかから想像力が養われていきます。
「さわやか詩集」は、子どもたちの瑞々しい発見や感動を伝え、
子どもたちの想像力を豊かに育みます。

きな影響を与えていることに
危機感を覚えています。映像
文化により、現実と非現実
との区別がつかないという弊
害が出て
いるのも
事実です。
「仮想体
験を正確
にとらえ
るには、
実体験か
ら出た想
像がない
と理解で
きないの
ではないかと思えます。基本
的な生活のなかで想像力を
身につけ、伸ばしていくこと
が大切です」。



豊かな表現で入賞した子どもたちの表彰式

基

本的な生活のなかで
想像力を身につければ、
バーチャルなものも効果的に
利用できるのではないかと、そ

のために
さわやか
詩集が生
きればい
と小川さ
んは考え
ています。
子ども
たちは詩
を書くこ
とで自分
の生活に

目を向け、これからの人生を
豊かに生きる術を今学んでい
ます。